

【進路を考える】

1 小学部での進路について

小学部卒業段階では、次のような進路が考えられます。

○進学（特別支援学校中学部、普通中学校特別支援学級）

特別支援学校小学部に入学したばかりの頃は、誰もが期待と不安でいっぱいの中、それまでとは大きく異なる環境の下、学校生活がスタートします。お子様の障害に関することや行動特性等は担任に詳しくお伝えいただいていることと思います。また、毎日の学校生活や活動の様子については、連絡帳や送迎時に情報交換させていただいております。お子様のことを担任と共有することは大切なことです。このことが「個別の教育支援計画」を考えていく始まりであり、進路に関する第一歩でもあります。

小学部に入学するとそのまま高等部まで進学することを当然と考え、「高等部卒業は、まだまだ先のことから。」と、学校卒業後のことまで具体的に考えることは難しいと思われれます。しかし、日々の生活を大切にするとともに、より早い段階からお子様の将来の生活についても考えていきたいものです。

そこで、早い段階から先を見据えた具体的な進路計画を立てていくことが大切です。「日常生活の指導」では、生活の基礎となる食事や身辺処理などに取り組み、一人でできることを少しずつ増やしたり、主体的に取り組めるようになってほしいとの思いを込めて指導します。「遊びの指導」や「生活単元学習」は、生活経験の幅を広げ、多くのことに興味・関心をもって取り組むことができるよう学習の支援を行います。

本校では、毎年「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成しています。学校と家庭・保護者とで共通理解しながら、一人一人の将来の姿を見据え、現在の状況を確認し、「課題」を明確にしていきます。「課題」は、できていないことばかりに目を向けるのではなく、得意なことを伸ばしたり、少し努力すれば改善が見込まれることに着目したりすることが大切です。

特別支援学校小学部を卒業する児童の多くは、そのまま中学部に進学しています。本校においてもほとんどの児童は本校の中学部へ進学しています。しかし、意外に中学部の様子については知らないことが多いものです。学校見学会などの機会を利用して中学部の様子を知ることも大切です。

また、相談事業所や市区町の保健福祉課や障害高齢課、社会福祉課等へ行き、「放課後等デイサービス」、「短期入所（ショートステイ）」、「レスパイトサービス」等のサービスを利用できる事業所や利用のための手続き方法について知っておくことも重要です。

※レスパイトサービスとは、必要な時に、必要なだけ、必要な援助を受けることにより、介護から離れられずにいるご家族が、一時的に一定時間、障害児（者）の介護から解放され、心身の疲れを回復するためのサービスのことです。